

市街地整備促進特別委員会資料

案件1 JR高槻駅ホーム拡充及び駅周辺整備について

案件2 富田駅周辺地区のまちづくりについて

平成29年2月8日

【都市創造部】

案件 1 J R 高槻駅ホーム拡充及び駅周辺整備について

目 次

- 1 J R 高槻駅ホーム拡充
- 2 J R 高槻駅北東地区市街地整備
- 3 周辺道路整備

1 JR高槻駅ホーム拡充

1 主な経過

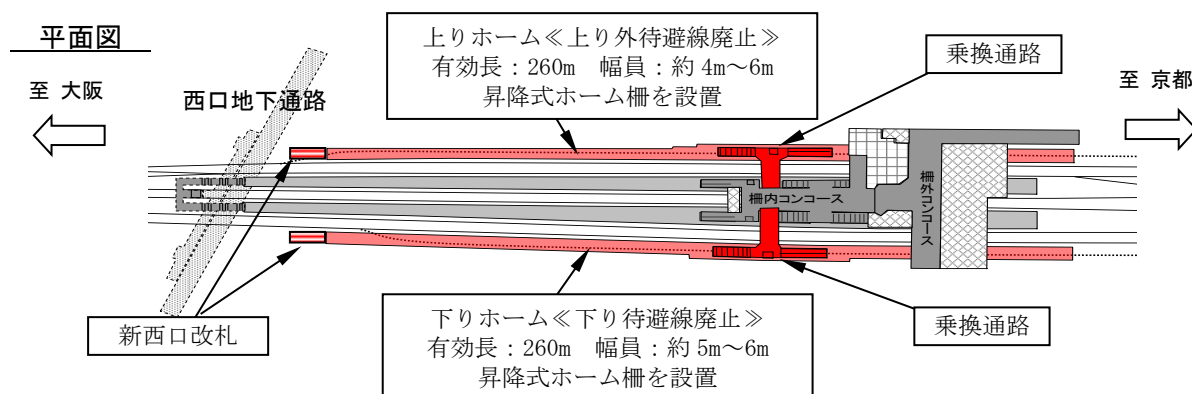
年月日	主な経過
平成 18 年 ～ 20 年度	J R 西日本・国・府・市が、連絡調整会議を 5 回にわたって開催
平成 21 年 5 月 18 日	市議会及び市が、J R 西日本にホーム拡幅を要望
平成 25 年 4 月 17 日	J R 西日本と市が、東海道本線高槻駅改良及び周辺都市基盤整備に関する基本協定書と工事協定書を締結
平成 26 年 5 月	J R 西日本が、ホーム新設工事に本格着手
平成 27 年 10 月 28 日	市長が、石井国土交通大臣に本事業への補助金交付を直接要望
平成 28 年 2 月 12 日	市街地整備促進特別委員会
3 月 26 日	J R 西日本が、新ホームを供用開始
12 月 16 日	J R 西日本が、特急「サンダーバード」の新規停車を公表
12 月 21 日	J R 西日本が、2・5 番線に「可動式ホーム柵」(横スライド式)を平成 30 年春頃に設置すると公表
平成 29 年 1 月 13 日	市と J R 西日本が、第 10 回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞
1 月 31 日	J R 高槻駅ホーム拡充事業の全工事完了

2 事業概要

- 公共性・公益性の高いJR高槻駅のホーム拡充に対して、平成 25～28 年度の 4 箇年計画で、国補助制度（都市・地域交通戦略推進事業）を活用しながら本市が支援
- 平成 28 年 3 月 26 日のJR西日本ダイヤ改正に合わせ、新ホームを供用開始

《主な整備内容》

- ・新ホーム：上り線：有効長 260m，幅員 4～6m 下り線：有効長 260m，幅員 5～6m
- ・乗換通路：新ホームから柵内コンコースに接続
- ・昇降設備：上下線にエレベーター各 1 基，エスカレーター各 1 基，階段各 1 箇所
- ・新西口改札：上下線に各 1 箇所 スロープ及び階段で新ホームと周辺道路に接続
- ・案内サイン：新改札前に大型LEDの発車時刻案内板を設置



○新ホームには、昇降式ホーム柵の設置と特急「はるか」が停車



新ホーム(大阪方面行き)



昇降式ホーム柵(上昇時)



新西口改札(きた西口)



新西口改札(みなみ西口)



特急はるか出発式



完成記念式典

特急「はるか」や新快速専用

JR高槻駅に新ホーム

JR高槻駅に昨日、特急・新快速専用の新ホーム（上下2本）が完成し、記念式典が行われた。約550人の市民や鉄道ファンが見守るなか、下りの新ホームに関西空港行きの特急「はるか1号」が停車。一日長に任じられた濱田剛史・高槻市長と市のゆるキャラ「はにたん」らが「出

市民ら550人完成祝い

「はるか」は1日に上下14本が発着する。濱田市長は「高槻駅が関西と直結された。市の玄関口としての魅力が向上すること期待」などと喜んでいた。

高槻駅は1日に12万5千人が利用しているが、これまでのホーム上下4本では転落を防止するために昇降式ホーム柵が立てられ、西口改札口もへうられた。平成28年度から総工費約45億円を増設工事を行った。

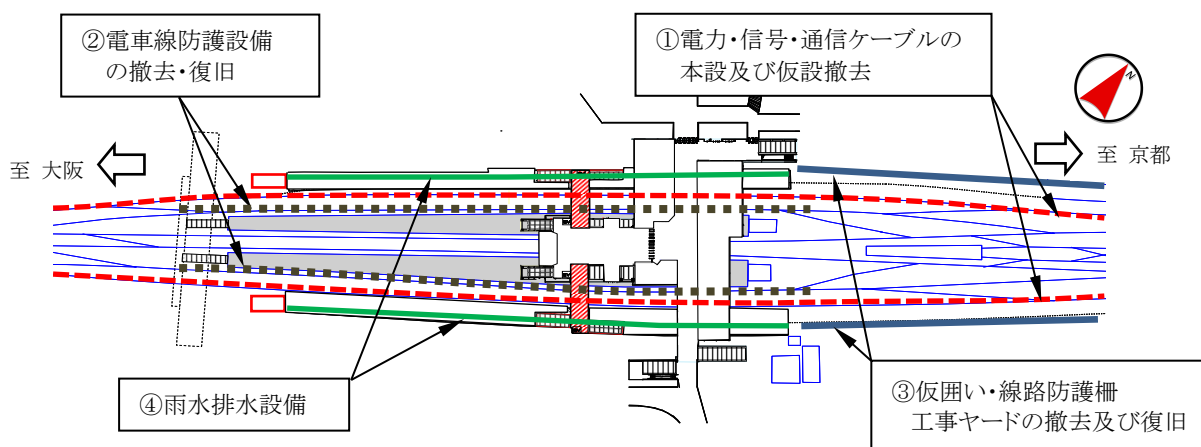
濱田市長（前列左から2人目）らの合図で新ホームを出発する特急「はるか1号」

JR高槻駅

平成28年3月27日
産経新聞 朝刊

3 平成28年度の進捗状況

○平成28年度を最終年度とし、列車運行に支障の無い設備工事で附帯工事を実施



工種	主な工事内容
設備工事	①電力・信号・通信ケーブルの本設及び仮設撤去 ②電車線防護設備の撤去・復旧
附帯工事	③仮囲い・線路防護柵・工事ヤードの撤去及び復旧 ④雨水排水設備

4 年次別資金計画

○JR西日本は、駅舎構造及び施工方法等の変更により、事業費を大きく削減し、総事業費を45億7,416万円から38億9,402万円へ約6.8億円を低減

○JR西日本は、道路施設の2億7,679万円の1/3を鉄道事業費に充当して負担

○総事業費（鉄道施設+道路施設）を、国：市：JR＝1：1：1の割合で負担

単位：千円

	鉄道施設					比率
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計	
事業費	482,673	666,714	(2,166,053) 2,093,824	(1,258,728) 650,812	(4,574,168) 3,894,023	
JR	11,553	265,594	(778,751) 706,522	(468,826) 406,604	(1,524,724) 1,390,273	36%
国	471,120	70,000	571,242	(412,360) 139,513	(1,524,722) 1,251,875	32%
市	0	331,120	816,060	(377,542) 104,695	(1,524,722) 1,251,875	32%

※()は変更前

5 ホーム柵の設置

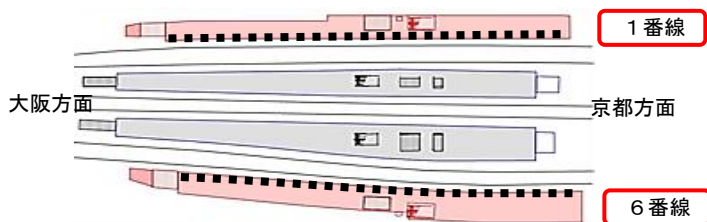
(1) 新ホーム

○JR西日本が、平成28年3月のホーム供用開始に合わせ、昇降式ホーム柵を整備

○JR西日本は、総事業費を6億6,000万円から6億949万円に低減

○国・府・市が協調して支援（JR：国：府：市＝1/3：1/3：1/6：1/6）

[施工箇所(新ホーム2線)]



[事業費]

単位：千円

負担者	金額	負担割合
JR西日本	203,167	1/3
国（近畿運輸局）	203,165	1/3
大阪府	101,582	1/6
高槻市	101,582	1/6
合計	609,496	



昇降式ホーム柵と特急はるか



障がい者団体のホーム柵体験会

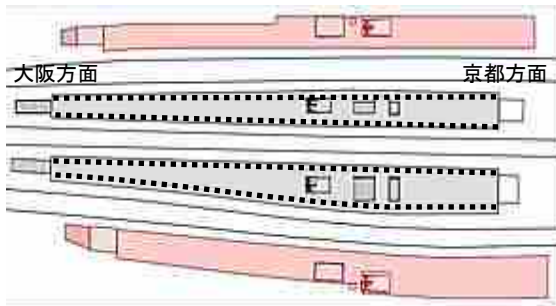
(2) 既存ホーム

○2・5番線は、「可動式ホーム柵」(横スライド式)を平成30年春頃の完成を予定

○3・4番線は、平成31年頃の完成を目標に計画

○国・府・市が協調して支援(JR:国:府:市=1/3:1/3:1/6:1/6)

[施工箇所(既存ホーム4線)]



- 2番線
- 3番線
- 4番線
- 5番線



高槻駅への設置イメージ

[年度別事業計画]

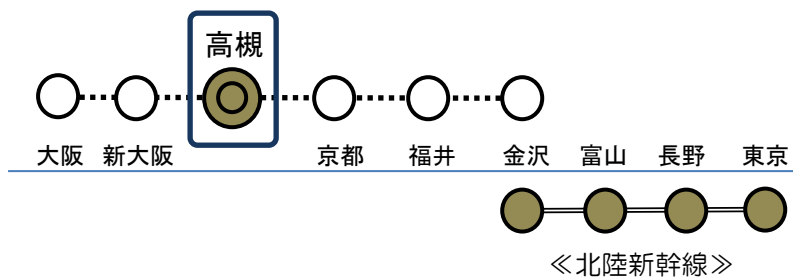
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
2番線・5番線	設計	工事	—	—
3番線・4番線	—	設計	工事	工事

6 特急サンダーバードの停車

○JR西日本が、特急「はるか」に続き、特急「サンダーバード」の高槻駅停車を公表

○平成29年3月4日のダイヤ改正日から、上下線合わせて1日あたり8本が停車

《特急サンダーバード》



特急「サンダーバード」

《金沢方面行き》

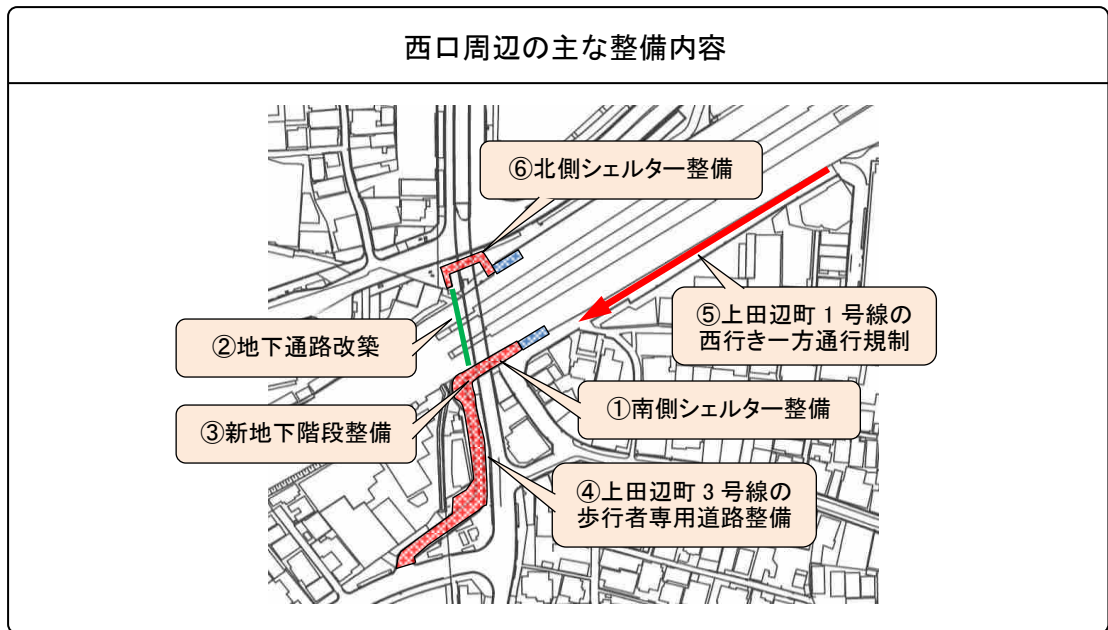
サンダーバード	大阪発	高槻発	京都	金沢着	北陸新幹線	金沢発	富山着	長野着
サンダーバード1号	6:30	6:45	6:59	9:13	はくたか558号	9:21	9:44	10:48
サンダーバード3号	7:00	7:15	7:29	9:38	かがやき508号	9:46	10:04	10:51
サンダーバード5号	7:40	7:55	8:10	10:25	つるぎ706号	10:34	10:57	—
サンダーバード7号	8:10	8:25	8:41	11:02	つるぎ708号	11:28	11:51	—

《大阪方面行き》

北陸新幹線	長野発	富山発	金沢着	サンダーバード	金沢発	京都着	高槻着	大阪着
つるぎ723号	—	17:11	17:34	サンダーバード42号	17:54	20:09	20:23	20:38
つるぎ725号	—	18:11	18:33	サンダーバード44号	18:42	20:54	21:08	21:23
はくたか571号	18:12	19:16	19:38	サンダーバード46号	19:47	22:02	22:16	22:31
つるぎ729号	—	20:16	20:38	サンダーバード48号	20:47	22:59	23:13	23:28

7 西口周辺都市基盤整備

○新ホーム及び新西口改札の整備に伴い、地域と意見交換しながら周辺道路の交通運用の見直しと既存施設を再整備



①南側シェルター整備



②地下通路改築



③新地下階段整備

西口周辺都市基盤の整備効果



④歩行者専用道路整備



広幅員で安全な歩行空間とホームまでのバリアフリー化が実現



⑤西行き一方通行規制



路側線・歩行帯により、歩行者の安全確保と運転者の交通マナーの意識が向上



⑥北側シェルター整備



新改札口と地下通路を屋根で接続し、西口周辺の回遊性が向上

8 バリアフリー化推進功労者大臣表彰

○新ホーム、昇降式ホーム柵及び周辺道路の官民一体となったバリアフリー化事業の功績が認められ、「第10回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞

《審査委員の視察状況》



昇降式ホーム柵



高齢者・視覚障がい者用
LED付音響装置



みなみ西口改札付近
誘導ブロック



南駅前デッキ
EV・ESC・シェルター

《表彰式（平成29年1月13日 開催）》



市長からの事業説明



表彰状の授与



表彰団体の記念撮影

○表彰対象事業

《JR高槻駅ホーム拡充事業》

- ・ホーム上の安全性確保とホーム柵の開発・設置
- ・ホームから駅周辺までの一体的・連続的なバリアフリー化
- ・西口周辺の安全・快適な歩行空間の確保
- ・官民が連携した統一感のあるJR高槻駅周辺案内サイン整備

《高槻市バリアフリー継続協議会》

- ・交通事業者・市民・学識経験者・行政など関係者が一同に会すバリアフリー会議の開催
- ・障がい者団体との個別協議、供用開始前の現地確認
- ・バリアフリー事業のスパイラルアップ

《ハード整備と相乗効果を図るソフト施策の推進》

- ・飲食・商業施設も掲載したバリアフリーマップ「高槻周辺『おでかけMAP』」作成